



SS-MIX拡張ストレージ ファイル仕様

第6.2版 2017/08/30

株式会社エスイーシー
ID-Linkサポートセンター

はじめに

- ◆ 本資料は、SS-MIX普及推進コンソーシアムが制定している「SS-MIX2 標準化ストレージ 構成の説明と構築ガイドライン」の仕様に則り、ID-Linkと拡張ストレージの連携を行う為の仕様書である。
- ◆ 上記ガイドラインの拡張ストレージに関する仕様については、Version1.2 bまでは「SS-MIX 標準化ストレージ」の内容と同じ内容である。その為、本資料では「SS-MIX2 Ver1.2b」までにに関する仕様を、**「SS-MIX拡張ストレージ」**、「SS-MIX2 Ver1.2b_revised」以降に関する仕様を、**「SS-MIX2拡張ストレージ」**と表記する。

【ガイドラインのVersionと拡張ストレージに関する仕様】

- SS-MIX2 Ver0.96 --> SS-MIX 拡張ストレージと同じ仕様
- SS-MIX2 Ver1.0 --> SS-MIX 拡張ストレージと同じ仕様
- SS-MIX2 Ver1.2 --> SS-MIX 拡張ストレージと同じ仕様
- SS-MIX2 Ver1.2b --> SS-MIX 拡張ストレージと同じ仕様

- SS-MIX2 Ver1.2b_revised --> **SS-MIX2** 拡張ストレージ仕様
- SS-MIX2 Ver1.2c --> **SS-MIX2** 拡張ストレージ仕様

SS-MIX拡張ストレージ

データ形式について

◆以下のデータ形式をサポートします。

データファイルはP7に記載したファイル命名規約に従ってください。

■単一ファイル形式 (PDF)

■複合ファイル形式 (XML+JPEG等)

■単一ファイル形式 (XML)

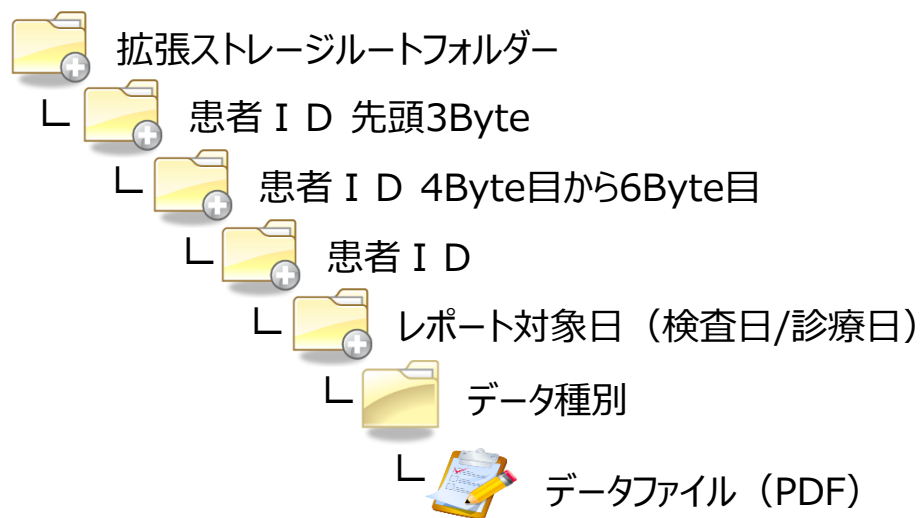
※**HL7 CDA R2形式**で保存されているXMLファイル及び、
バイタル情報が格納されているXMLファイルのみ対象となります。

※バイタル情報につきましては、データ種別が患者基本情報の更新(ADT-00)の
OBXセグメントに結果情報を設定する事により対象となります。
詳細は、後述のメッセージ仕様（バイタル情報を）参照の事。

フォルダ階層について 単一ファイル形式 (PDF)

- PDFのように単一のファイルでレポートが表現できる場合は、データ種別フォルダの直下にファイルを置きます。

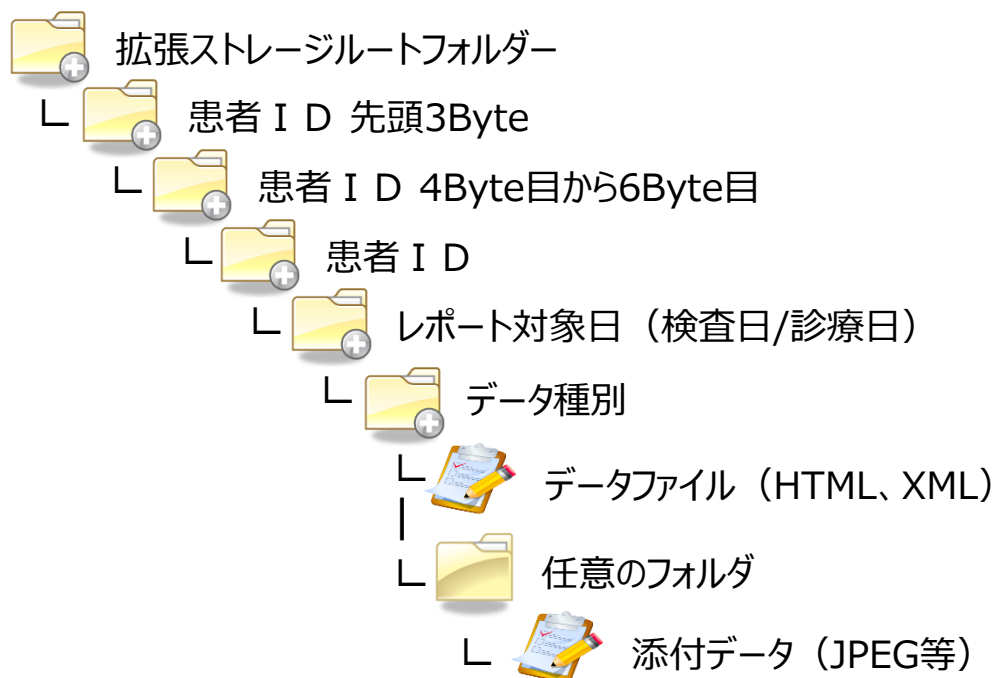
【拡張ストレージ】



フォルダ階層について 複合ファイル形式 (XML+JPEG等)

- HTMLやXMLのように外部参照用のリンクを持てる形式の場合、データ種別フォルダの直下に外部参照用フォルダを作成し、その下に、添付データを格納してください。
- HTMLやXMLに、添付データのパスを相対パスで記述してください。
- XMLの場合は表示用のスタイルシートが必要となりますので、ご用意をお願いします。

【拡張ストレージ】

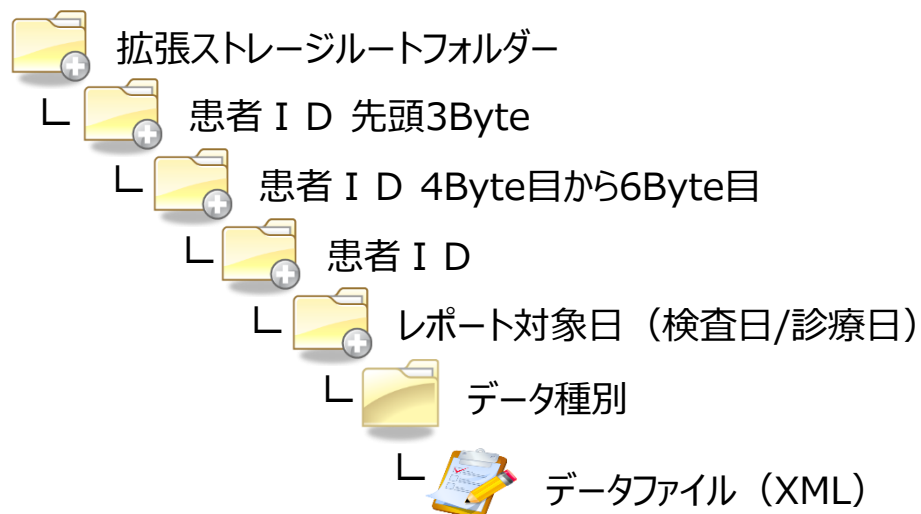


フォルダ階層について 複合ファイル形式 (XML)

- HL7CDA R2に準拠した形のXMLや、バイタル情報が格納されているXMLについては、データ種別フォルダの直下にファイルを置きます。

※診療情報提供書や診療記録(SOAP)、バイタル情報が該当します。

【拡張ストレージ】



ファイルの命名規約について

以下の規約に従うようお願いします。

患者ID_診療日_データ種別_キー情報_発生日時_診療科_コンディションフラグ.拡張子

No.	項目	内容	利用目的
1	患者ID	フォルダー構造に必要な項目と同様	カレンダーの表示位置を特定するために利用
2	診療日		
3	データ種別		
4	キー情報	オーダNo等、文書を一意にする識別番号。 前日、当日のように、日が違う場合は、同一番号も可 全ファイルに対して、通番でも可	画像・レポート一覧のオーダNoを表示するのに利用
5	発生日時	ファイル作成日時 (YYYYMMDDHHMMSSFFF表記を推奨)	ファイル名を一意にするために利用
6	診療科	診療科（入力組織） 診療科コード自体を保有しない場合は固定で「000」（3桁表記）もしくは「00」（2桁表記）を設定する。	画像・レポート一覧の診療科を表示するのに利用
7	コンディションフラグ	ファイルが有効か無効かを識別するフラグ 表示（カレンダーに表示する）対象のものには、 "1"を設定 修正元等、表示対象外の場合は、"0"を設定	表示対象か否かの判定に利用 0:無効 1:有効
8	拡張子	ファイルの種類	PDF、HTML、XML、JPEG等

改版等によるデータ修正時の扱いについて

- ◆ 格納ファイルに対し、改版等によるデータ修正が発生した場合は、下記の2通りの方法のいずれかを選択し、対応してください。

■ コンディションフラグでの管理

ID Linkでは、前ページに記載してあります、ファイルの命名規約内のコンディションフラグにより、データ取得対象、取得対象外を判断します。

レポート等が改版された場合、改版前の情報を取得対象とさせたくない場合は、改版前のファイル名のコンディションフラグを"**0**"に置き換え、改版後のファイル名のコンディションフラグを"**1**"にする事で、改版後の情報のみ取得対象とすることが可能です。

■ 物理的にファイルを削除

格納されているファイルを物理的に削除する事で、取得対象外となります。更新される場合は、改版前のファイルを削除していただき、改版後のファイル名のコンディションフラグを"**1**"にして頂く事で、改版後の情報のみ取得対象とすることが可能です。

各種レポートとデータ種別例

- 拡張ストレージのデータ種別は任意ですが、以下を例とし、該当しない場合は、新たに定義してください。

No	管理コード	英語標準ラベル	内容	データ種別
1	MD0020780	ExaminationRecord	検体検査実施記録および結果	REP-01
2	MD0020790	X-rayExaminationRecord	放射線検査実施記録および結果	REP-02
3	MD0020800	PhysiologicalExaminationRecord	生体検査実施記録および結果	REP-03
4	MD0020810	EndoscopicExaminationRecord	内視鏡検査実施記録および結果	REP-04
5	MD0020820	HistologicalExaminationRecord	病理検査実施記録および結果	REP-05
6	MD0020830	BacterialExaminationRecord	細菌検査実施記録および結果	REP-06
7	MD0020840	EchoExaminationRecord	超音波検査実施記録および結果	REP-07
8	MD0020850	MiscellaneousExaminationRecord	各種検査実施記録および結果	REP-08
9	MD0020860	DispositionRecord	調剤実施記録	REP-09
10	MD0020870	MedicationRecord	服薬実施記録	REP-10
11	MD0020880	InjectionRecord	注射実施記録	REP-11
12	MD0020890	SurgicalOperationRecord	手術実施記録	REP-12
13	MD0020900	TreatmentRecord	処置実施記録	REP-13
14	MD0020910	NutritionInstructionRecord	栄養指導実施記録	REP-14
15	MD0020920	MedicineInstructionRecord	服薬指導実施記録	REP-15
16	MD0020930	MedicineManagementRecord	薬剤管理指導実施記録	REP-16
17	MD0020940	RehabilitationRecord	リハビリ実施記録	REP-17
18	-	-	看護記録(SOAP)	KRT-01
19			バイタル情報	VIT-01

メッセージ仕様(バイタル情報)

■ 患者基本情報の更新メッセージ(ADT^A08)の定義抜粋

セグメント	セグメント名	
MSH	メッセージヘッダ	
[{SFT}]	ソフトウェア	
EVN	事象型	
PID	患者識別	
[PD1]	患者追加基本情報	
[{ROL}]	役割	
[{NK1}]	近親者情報	
PV1	来院情報	
[PV2]	来院補足情報	
[{ROL}]	役割	
[{DB1}]	身体障害	
[{OBX}]	検査結果	
[{AL1}]	アレルギー情報	
… 以下省略 …		

バイタル情報は、
検査結果[{OBX}]セグメントへ
設定してください。

メッセージ仕様(バイタル情報)

■ 検査結果セグメント(OBX)への設定

	フィールド名	説明
OBX-0	セグメント ID	セグメントID「OBX」を設定する。
OBX-1	セットID - OBX	シーケンス番号を設定する。
OBX-2	値型	"ST"を設定する。
OBX-3	検査項目	バイタル項目を設定する。 例：^breath^ "breath" ※呼吸 "bpHigh" ※血圧(上) "bpLow" ※血圧(下) "pulse" ※脈拍 "temp" ※体温 "spo2" ※血中酸素飽和度
OBX-5	検査値	検査値を設定する。
OBX-11	検査結果状態	"F" ※最終結果を設定する。
OBX-14	検査日時	検査日時を設定する。 "YYYYMMDDHHMM" 例：201311251615

本環境でのテストの前に

本環境でのテストの前に、下記のご連絡・送付をお願いします。

下記の情報が揃い次第、弊社側のID-Link Gatewayのモジュールを作成・リリースさせていただきます。
リリース作業が終わり次第、ご連絡させていただきますので、本環境でのテストスケジュールをご連絡頂くようにお願いします。

尚、モジュールについては、作成にお時間を頂きますので、
本環境でのテスト・稼働のスケジュールが事前に決まっている場合は、
support@mykarte.com へ 件名、"SS-MIX拡張ストレージ連携テスト予定"で、ご連絡ください。

1. 利用するデータ種別
※前ページにデータ種別例を載せていますが、**該当がない場合は、新たに定義してください。**
2. 共有フォルダサーバのIPアドレス
※事前に弊社サーバより、共有フォルダサーバへ疎通確認を行わせていただきます。
疎通確認が取れない場合は、ご連絡させていただきます。
3. ID-Link Gatewayと御社側の共有フォルダサーバとの認証に必要な、ユーザー・パスワード
4. XMLを利用する場合は、**表示用スタイルシートの提供をお願いします。**
※**HL7 CDA R2形式の場合は、弊社にて準備してありますので必要ありません。**

SS-MIX2拡張ストレージ

データ形式について

◆以下のデータ形式をサポートします。

データファイルを格納するコンテンツフォルダはP17に記載したコンテンツフォルダ命名規約に従ってください。

■単一ファイル形式 (PDF)

■複合ファイル形式 (XML+JPEG等)

■単一ファイル形式 (XML)

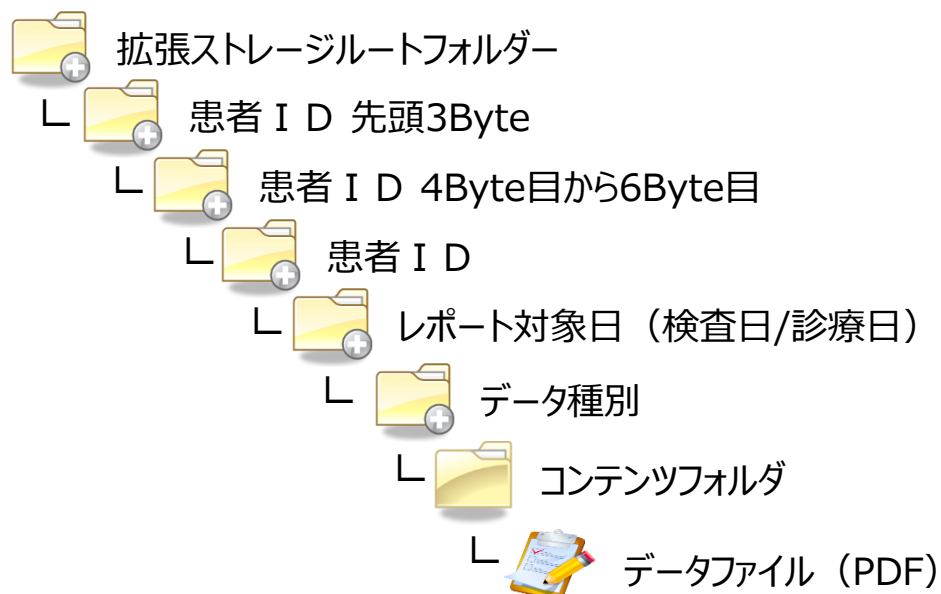
※**HL7 CDA R2形式**で保存されているXMLファイル及び、
バイタル情報が格納されているXMLファイルのみ対象となります。

※バイタル情報につきましては、データ種別が患者基本情報の更新(ADT-00)の
OBXセグメントに結果情報を設定する事により対象となります。
詳細は、後述のメッセージ仕様（バイタル情報を）参照の事。

フォルダ階層について 単一ファイル形式（PDF）

- PDFのように単一のファイルでレポートが表現できる場合は、コンテンツフォルダの直下にファイルを置きます。

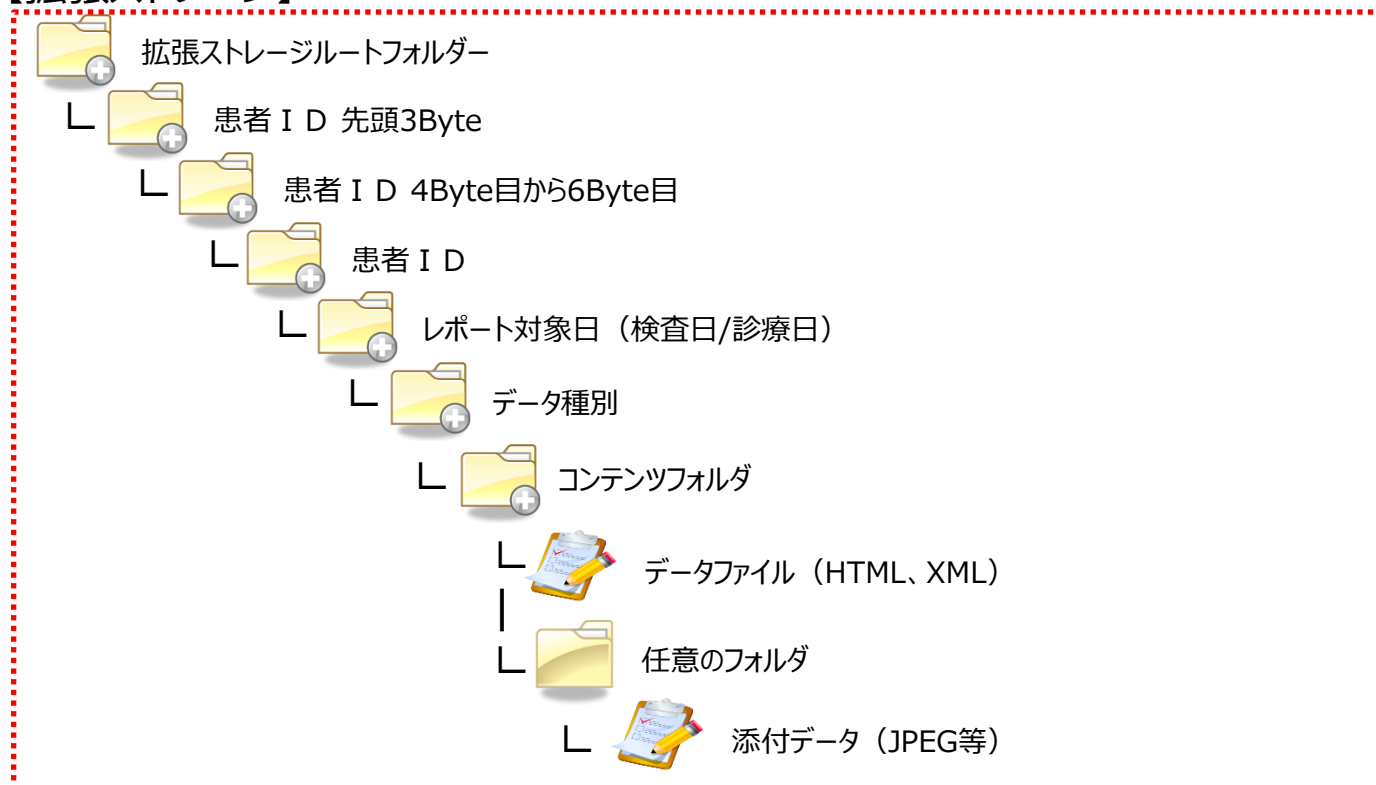
【拡張ストレージ】



フォルダ階層について 複合ファイル形式 (XML+JPEG等)

- HTMLやXMLのように外部参照用のリンクを持てる形式の場合、コンテンツフォルダの直下に外部参照用フォルダを作成し、その下に、添付データを格納してください。
- HTMLやXMLに、添付データのパスを相対パスで記述してください。
- XMLの場合は表示用のスタイルシートが必要となりますので、ご用意をお願いします。

【拡張ストレージ】

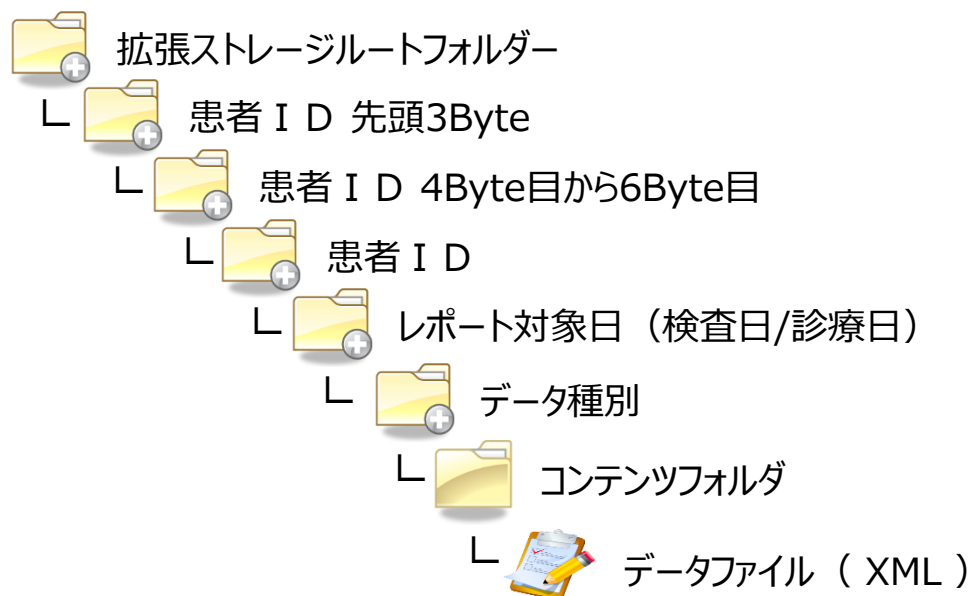


フォルダ階層について 単一ファイル形式 (XML)

- HL7CDA R2に準拠した形のXMLや、バイタル情報が格納されているXMLについては、コンテンツフォルダの直下にファイルを置きます。

※診療情報提供書や診療記録(SOAP)、バイタル情報が該当します。

【拡張ストレージ】



コンテンツフォルダの命名規約について

以下の規約に従うようお願いします。

患者ID_診療日_データ種別_キー情報_発生日時_診療科_コンディションフラグ

No.	項目	内容	利用目的
1	患者ID	フォルダ構造に必要な項目と同様	カレンダーの表示位置を特定するために利用
2	診療日		
3	データ種別		
4	キー情報	オーダNo等、文書を一意にする識別番号。 前日、当日のように、日が違う場合は、同一番号も可 全ファイルに対して、通番でも可	画像・レポート一覧のオーダNoを表示するのに利用
5	発生日時	コンテンツフォルダ作成日時 (YYYYMMDDHHMMSSFFF表記を推奨)	コンテンツフォルダ名を一意にするために利用
6	診療科	診療科 (入力組織) 診療科コード自体を保有しない場合は固定で「000」(3桁表記) もしくは「00」(2桁表記) を設定する。	画像・レポート一覧の診療科を表示するのに利用
7	コンディションフラグ	コンテンツフォルダが有効か無効かを識別するフラグ 表示 (カレンダーに表示する) 対象のものには、 "1"を設定 修正元等、表示対象外の場合は、"0"を設定 対象外コンテンツフォルダを履歴として残す場合は "2"を設定	表示対象か否かの判定に利用 0:無効 1:有効 2:履歴

改版等によるデータ修正時の扱いについて

◆コンテンツフォルダ直下の格納ファイルに対し、改版等によるデータ修正が発生した場合は、下記の2通りの方法のいずれかを選択し、対応してください。

■コンディションフラグでの管理

ID Linkでは、前ページに記載してあります、コンテンツフォルダの命名規約内のコンディションフラグにより、データ取得対象、取得対象外を判断します。

レポート等が改版された場合、改版前の情報を取得対象とさせたくない場合は、改版前のコンテンツフォルダ名のコンディションフラグを"**0**"または"**2**"に置き換え、改版後のコンテンツフォルダ名のコンディションフラグを"**1**"にする事で、改版後の情報のみ取得対象とすることが可能です。

■物理的にコンテンツフォルダを削除

コンテンツフォルダを物理的に削除する事で、取得対象外となります。更新される場合は、改版前のコンテンツフォルダを削除していただき、改版後のコンテンツフォルダ名のコンディションフラグを"**1**"にして頂く事で、改版後の情報のみ取得対象とすることが可能です。

各種レポートとデータ種別例

- 拡張ストレージのデータ種別は任意ですが、以下を例とし、該当しない場合は、新たに定義してください。

No	管理コード	英語標準ラベル	内容	データ種別
1	MD0020780	ExaminationRecord	検体検査実施記録および結果	REP-01
2	MD0020790	X-rayExaminationRecord	放射線検査実施記録および結果	REP-02
3	MD0020800	PhysiologicalExaminationRecord	生体検査実施記録および結果	REP-03
4	MD0020810	EndoscopicExaminationRecord	内視鏡検査実施記録および結果	REP-04
5	MD0020820	HistologicalExaminationRecord	病理検査実施記録および結果	REP-05
6	MD0020830	BacterialExaminationRecord	細菌検査実施記録および結果	REP-06
7	MD0020840	EchoExaminationRecord	超音波検査実施記録および結果	REP-07
8	MD0020850	MiscellaneousExaminationRecord	各種検査実施記録および結果	REP-08
9	MD0020860	DispositionRecord	調剤実施記録	REP-09
10	MD0020870	MedicationRecord	服薬実施記録	REP-10
11	MD0020880	InjectionRecord	注射実施記録	REP-11
12	MD0020890	SurgicalOperationRecord	手術実施記録	REP-12
13	MD0020900	TreatmentRecord	処置実施記録	REP-13
14	MD0020910	NutritionInstructionRecord	栄養指導実施記録	REP-14
15	MD0020920	MedicineInstructionRecord	服薬指導実施記録	REP-15
16	MD0020930	MedicineManagementRecord	薬剤管理指導実施記録	REP-16
17	MD0020940	RehabilitationRecord	リハビリ実施記録	REP-17
18	-	-	看護記録(SOAP)	KRT-01
19			バイタル情報	VIT-01

メッセージ仕様(バイタル情報)

■ 患者基本情報の更新メッセージ(ADT^A08)の定義抜粋

セグメント	セグメント名	
MSH	メッセージヘッダ	
[{SFT}]	ソフトウェア	
EVN	事象型	
PID	患者識別	
[PD1]	患者追加基本情報	
[{ROL}]	役割	
[{NK1}]	近親者情報	
PV1	来院情報	
[PV2]	来院補足情報	
[{ROL}]	役割	
[{DB1}]	身体障害	
[{OBX}]	検査結果	
[{AL1}]	アレルギー情報	
… 以下省略 …		

バイタル情報は、
検査結果[{OBX}]セグメントへ
設定してください。

メッセージ仕様(バイタル情報)

■ 検査結果セグメント(OBX)への設定

	フィールド名	説明
OBX-0	セグメント ID	セグメントID「OBX」を設定する。
OBX-1	セットID - OBX	シーケンス番号を設定する。
OBX-2	値型	"ST"を設定する。
OBX-3	検査項目	バイタル項目を設定する。 例： ^breath^ "breath" ※呼吸 "bpHigh" ※血圧(上) "bpLow" ※血圧(下) "pulse" ※脈拍 "temp" ※体温 "spo2" ※血中酸素飽和度
OBX-5	検査値	検査値を設定する。
OBX-11	検査結果状態	"F" ※最終結果を設定する。
OBX-14	検査日時	検査日時を設定する。 "YYYYMMDDHHMM" 例： 201311251615

本環境でのテストの前に

本環境でのテストの前に、下記のご連絡・送付をお願いします。

下記の情報が揃い次第、弊社側のID-Link Gatewayのモジュールを作成・リリースさせていただきます。
リリース作業が終わり次第、ご連絡させていただきますので、本環境でのテストスケジュールをご連絡頂くようにお願いします。

尚、モジュールについては、作成にお時間を頂きますので、
本環境でのテスト・稼働のスケジュールが事前に決まっている場合は、
support@mykarte.com へ 件名、"SS-MIX2拡張ストレージ連携テスト予定"でご連絡ください。

1. 利用するデータ種別
※前ページにデータ種別例を載せていますが、**該当がない場合は、新たに定義してください。**
2. 共有フォルダサーバのIPアドレス
※事前に弊社サーバより、共有フォルダサーバへ疎通確認を行わせていただきます。
疎通確認が取れない場合は、ご連絡させていただきます。
3. ID-Link Gatewayと御社側の共有フォルダサーバとの認証に必要な、ユーザー・パスワード
4. XMLを利用する場合は、**表示用スタイルシートの提供をお願いします。**
※HL7 CDA R2形式の場合は、弊社にて準備しておりますので必要ありません。
5. ディレクトリ構成
※コンテンツフォルダ配下のディレクトリ構成が本資料と異なる場合は、
別途調整が必要となりますので御社側の仕様に関する情報をご連絡ください。

お問い合わせ方法について

- 必要情報のご連絡や、その他ご不明点につきましては、株式会社エスイーシー ID-Linkサポートセンターまでお問い合わせください。

- **お電話でのお問い合わせ**

0138-22-7227

受付時間：月曜～金曜9：00～12：00、13：00～17：00（祝日および年末年始を除く）

- **メールでのお問い合わせ**

support@mykarte.com

お問い合わせの際には、以下の記載をお願いいたします。

- ・ご所属（会社、医療機関等）
- ・お客様のお名前
- ・Emailアドレス
- ・ご連絡先（住所、電話番号）
- ・件名：**SS-MIX2拡張ストレージ連携について** など

また、お問い合わせに対して返信を差し上げるまでに数日を要する場合がございます。

改版履歴

版数	項目	説明	日付
初版	全般	新規	2013.02.01
第2版	全般	改版等によるデータ修正時の扱いについてを追加	2013.02.12
第3版	全般	パスワード使用禁止文字を追加	2013.03.26
第4版	全般	単一ファイル形式(XML)を追加	2013.08.13
第5版	全般	バイタル情報を追加	2013.11.25
第6版	全般	SS-MIX2に関する記載を追加	2015.10.09
第6.1版	本環境でのテストの前に	必要情報の記述を修正	2017.04.05
第6.2版	全般 お問い合わせ方法について	文字レイアウトの微修正 電話、メールでのお問い合わせ先情報を追加	2017.08.30